

**2005年(平成17年)**

- [2005/00/Ha] 原田隆史「オープンソースを利用した図書館システム」,『INFOPRO2005 予稿集』, 2005.
- [2005/00/Ku] 熊田淳美「『国書総目録』の文化史的背景; 第一部: 戦前の国史・国文学界と幻の岩波『国書解題』」,『中央大学文学部紀要』, Vol. 39, No. 3, 4, 2005, p144-80.
- [2005/00/Ok] 岡野純子「RLG 総合目録への書誌レコード登録と国際貢献」,『Medianet』(慶応義塾大学メディアセンター本部), (通号 12), 2005, p38-39.
- [2005/00/Sa] 作野誠「学術雑誌必要度調査結果の概要: 愛知学院大学歯学・薬学図書館情報センターにおける学術情報基盤の充実を目指して」,『館灯』(私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会), 44, 2005, p9-14.
- [2005/00/Se] 関秀行「OPAC 改善の動き: OPAC 改善検討ワーキング」,『Medianet』(慶応義塾大学メディアセンター本部), (通号 12), 2005, p36-37.
- [2005/00/Se] 関口素子「ILL システムのその後と昨今のサービス展開」,『Medianet』(慶応義塾大学メディアセンター本部), (通号 12), 2005, p56-58.
- [2005/00/To] 東京都立中央図書館資料管理課「“中国語・韓国・朝鮮語図書の NACSIS-CAT(国立情報学研究所目録所在情報サービス・目録システム)の利用”(サービスの新たな展開)」,『都立図書館報』,(154), 2005, p20.
- [2005/02/Fu] 古里兌夫「Web 上における図書館目録の公開と予約利用形態の変化: 品川区立図書館におけるインターネットによる貸出予約開始と利用状況の変化(特集: Web による図書館サービスの可能性を探る)」,『図書館雑誌』(日本図書館協会, ISSN:03854000), 99(2), 2005.02, p82-85.
- [2005/02/Ue] 上田修一「ウェブの 10 年を図書館はどう過ごしてきたか(特集: Web による図書館サービスの可能性を探る)」,『図書館雑誌』(日本図書館協会, ISSN:03854000), 99(2), 2005.02, p79-81.
- [2005/03/Eg] 江上敏哲(京都大学情報学研究所図書室)「欧州の日本資料図書館における活動・実態調査報告: 日本資料・情報の管理・提供・入手」,『大学図書館研究』(ISSN:03860507), No.73, 2005.03, p45-56.
- [2005/03/Ko] 国公立大学図書館協力委員会平成 16 年度シンポジウム企画委員会「国公立大学図書館協力ニュース: 平成 16 年度シンポジウム「日本の書誌ユーティリティと GIF の進展と課題」報告」,『大学図書館研究』(ISSN:03860507), No.73, 2005.03, p69-80.
- [2005/03/Ko] 国公立大学図書館協力委員会著作権問題拡大ワーキンググループ『大学図書館における著作権問題 Q&A; 第 4 版』, 2005.03. \* 全面改訂。国立大学図書館協会の Web サイトで公開。
- [2005/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「平成 17 年度遡及入力事業について」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 16 号, 2005.03.25.
- [2005/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「NACSIS-CAT 参照ファイルに OCLC を導入」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 16 号, 2005.03.25.
- [2005/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「教科書に関する取扱い及び解説」,『コーディングマニュアル(教科書に関する抜粋集)』の公開」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 16 号, 2005.03.25.
- [2005/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「NACSIS-CAT/ILL システムの移行について」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 16 号, 2005.03.25.
- [2005/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「平成 17 年度総合目録データベース実務研修実施報告」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 16 号, 2005.03.25.
- [2005/03/Ko] 小山憲司「NACSIS-CAT を活用した大学図書館における目録業務の現状と課題--東京大学総合図書館における書誌レコード調整業務を中心に」,『TP&D フォーラムシリーズ』(TP&D フォーラム実行委員会 ISSN:0918404X), 通号 12-14, 2005.03, p59-72.
- [2005/03/Na] 中田晴美「大学ポータルと図書館システムの連携: 名古屋学院大学の事例」,『館灯』(私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会), 43, 2005.03, p20-27.
- [2005/03/Oo] 大場高志「国立情報学研究所の新たな情報提供サービス」,『看護と情報: 看護図書館協議会

- 誌』, 12, 2005.03, p87-89.
- [2005/03/Sa] 佐藤康之「<動向レビュー>MARCとメタデータのクロスウォーク (CA1552)」,『カレントアウェアネス』, No.283, 2005.03, p11-15.
- [2005/03/Ta] 高橋菜奈子 (一橋大学附属図書館)「NACSIS-CATにおける韓国・朝鮮人著者名典拠の標目記述とその課題: 韓・日出版物にみる著者名表記の字体と著者略歴の分析を通して」,『日本図書館情報学会誌』(日本図書館情報学会 ISSN:13448668), Vol.51, No.1, 2005.03, p15-24
- [2005/03/To] 兎内勇津流 (北海道大学スラブ研究センター講師)「NII 総合目録データベースにおける著者名典拠ファイルの形成過程」,『大学図書館研究』(大学図書館研究編集委員会 ISSN:03860507), No.73, 2005.03, p1-13
- [2005/04/Ko] 国立国会図書館関西館事業部図書館協力課総合目録係「国内公共図書館の相互貸借等に関する調査報告書: 国立国会図書館総合目録ネットワーク参加館状況調査のまとめ (デジタル環境下における ILL, ドキュメント・デリバリーとその運用基盤)」,『図書館研究シリーズ』, No.38, 2005.04.
- [2005/05/Ni] 新元公寛「会議録・会議資料: OCLC が提供する会議録検索用データベース」,『情報の科学と技術』, Vol.55, No.5, 2005.05, p224-226. \*FirstSearch で提供する ProceedingsFirst と PapersFirst
- [2005/05/Ya] 山田稔「Worldcat は「真の世界書誌」をめざす」,『司書の目と耳』(愛知淑徳大学図書館), 2005.05. \* <[http://www2.aasa.ac.jp/org/lib/j/issues\\_i/metomimi/metomimi2005html#20050512](http://www2.aasa.ac.jp/org/lib/j/issues_i/metomimi/metomimi2005html#20050512)>  
[確認: 2009年2月22日]
- [2005/06/Is] 石田栄美「日本十進分類法と基本件名標目の相互マッピングの試み」,『文化情報学』(駿河台大学文化情報学部 ISSN13410962), Vol.12, No.1, 2005.06, p1-11. \*NACSIS-CAT の書誌データ 10 万件を使用している相互マッピング。
- [2005/06/Ki] 北克一[ほか]「第 52 回日本図書館情報学会研究大会シンポジウム記録: 図書館目録とメタデータ情報の組織化における新たな可能性<学会記事>」,『日本図書館情報学会誌』(日本図書館情報学会 ISSN:13448668), Vol.51, No.2 (通号 162), 2005.06, p75-98.
- [2005/06/Ya] 山中秀夫「和古書総合目録構築のための基本的問題に関する考察」,『日本図書館情報学会誌』(日本図書館情報学会 ISSN:13448668), Vol.51, No.2, 2005.06, p62-74
- [2005/06/Yo] 横山幸雄「図書館目録とメタデータ: 情報の組織化における新たな可能性 (第 52 回日本図書館情報学会研究大会シンポジウム記録)」,『日本図書館情報学会誌』(日本図書館情報学会 ISSN:13448668), Vol.51, No.2, 2005.06, p75-98.
- [2005/06/Yo] 吉野貴庸「大学図書館のポロイング・ポリシー: 貸借資料の複写可否」,『大学図書館問題研究会誌』, 28, 2005.06, p1-13.
- [2005/07/Ki] 喜田哲也, 南俊朗「図書館目録カード画像検索システムの改善: 扱いやすく柔軟なインタフェースへの移行」,『電子情報通信学会技術研究報告』(ISSN09135685), 105(172)(DE2005 65-106), 2005.07, p151-156.
- [2005/07/Ko] 国公私立大学図書館協力委員会「大学図書館協力における資料複製に関するガイドライン」, 2005.07. \*国立大学図書館協会の Web ページで公開。
- [2005/07/Ta] 竹内比呂也「第 1 章 大学図書館の現状と政策」,『variゆく大学図書館/逸村裕, 竹内比呂也 [ほか] 編著』(剉草書房), 2005.07, p10-.
- [2005/08/Mo] 森本英幸「NII Webcat Plus の北アメリカ地域での有用性: 検索及び基盤となる書誌レコードの観点より」,『大学図書館研究』(大学図書館研究編集委員会 ISSN:03860507) No.74, 2005.08, p19-27
- [2005/08/No] 野末道子「土木図書館目録書誌目録データベース検索用語選択支援インタフェースの構築と評価」,『土木学会年次学術講演会概要集 (CD-ROM)』, Vol.60th.Disk2, 2005.08.
- [2005/08/Ok] 岡蔭偉久子「総合目録における和漢古書書誌記述の考察:NACSIS-CAT(NII)及び NCR での取扱いを踏まえて」,『大学図書館研究』(学術文献普及会 ISSN:03860507), No.74, 2005.08, p1-8.
- [2005/08/Wa] 渡邊隆弘「継続資料の組織化と総合目録データベース」,『大学図書館研究』(大学図書館研究編集委員会 ISSN:03860507), No.74, 2005.08, p9-18

- [2005/09/Ir] 入江伸「ライブラリーシステム研究会の活動と今後のテーマ(特集:図書館システム)」、『医学図書館』, Vol. 52, No. 3, 2005.09, p246-250. \* Z.39.50 プロトコルの適用。
- [2005/09/Ku] 工藤邦彦「和古書の組織化における現状と課題」、『図書館学』(西日本図書館学会), 87, 2005.09, p51-64.
- [2005/09/Ku] 黒澤公人「図書館システム コンピュータの進化と図書館システムの進化:図書館システムビッグバン 40年間の旅へ」、『医学図書館』, Vol. 52, No. 3, 2005.09, p215-222.
- [2005/09/Ma] 牧田真紀子「図書館システム更新から1年半を経過して(特集:図書館システム)」、『医学図書館』, Vol. 52, No. 3, 2005.09, p234-236. \* リコー製 Limedio
- [2005/09/Sh] 志村直子[ほか]「順天堂大学図書館における iLiswave の導入の実例(特集:図書館システム)」、『医学図書館』, Vol. 52, No. 3, 2005.09, p229-233.
- [2005/09/Sh] 白木俊男「図書館システム更新に伴う考察(特集:図書館システム)」、『医学図書館』, Vol. 52, No. 3, 2005.09, p223-228.
- [2005/10/Ha] 林賢紀「RSS (Rich Site Summary) を活用した OPAC サービスの展開:農林水産研究情報センターにおける事例」、『情報プロフェッショナルシンポジウム予稿集』, Vol. 2nd, 2005.10, p167-171.
- [2005/10/Ha] 原田隆史, 横山瑠美, 長井英夫, 佐々木雅吾「オープンソースを利用した図書館システム」、『情報プロフェッショナルシンポジウム予稿集』, Vol. 2nd, 2005.10, p173-176.
- [2005/10/Ko] 小島浩之「図書館と OPAC・漢籍目録(学術リソースレビュー:学術サイト)」、『漢字文献情報処理研究』(好文出版), No. 6, 2005.10, p200-202.
- [2005/10/Ko] 国立情報学研究所書誌ユーティリティ課題検討プロジェクト『書誌ユーティリティ課題検討プロジェクト最終報告』(国立情報学研究所), 2005.10, 12p.  
<[http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/contents/ncat\\_info\\_kadaiPT-last-report.pdf](http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/contents/ncat_info_kadaiPT-last-report.pdf)>
- [2005/10/To] 豊田久美子「相互貸借と文献入手(病院図書研究会 2005 年度第 1 回研修会)」、『ほすびたるらいぶらりあん』, 107, 2005.10, p226-232.
- [2005/11/Do] 呑海沙織「利用者志向の図書館サービス:変化する利用者と図書館の関係性(特集:大学図書館 2005)」、『図書館雑誌』, 99(11), 2005.11, p785-786.
- [2005/11/Ja] Jackson, Mary E.「ドキュメント・デリバリー・サービスの将来(デジタル環境下における ILL ドキュメント・デリバリーとその運用基盤)」、『図書館研究シリーズ』(ISSN:18804845), No. 38, 2005.11, p121-146.
- [2005/11/Ki] 北克一「総合目録の現状と今後の方向性:第 12 回総合目録ネットワーク参加館フォーラム講演(デジタル環境下における ILL ドキュメント・デリバリーとその運用基盤)」、『図書館研究シリーズ』(ISSN:04541960), No. 38, 2005.11, p85-115
- [2005/11/Ko] 国立国会図書館関西館事業部図書館協力課編「国内公共図書館の相互貸借等に関する調査報告書:国立国会図書館総合目録ネットワーク参加館状況調査のまとめ(デジタル環境下における ILL ドキュメント・デリバリーとその運用基盤)」、『図書館研究シリーズ』(ISSN:18804845), No. 38, 2005.11, p1-83.
- [2005/11/Pf] Pfleger, Mat「デジタル時代における英国図書館の文献提供(デジタル環境下における ILL ドキュメント・デリバリーとその運用基盤)」、『図書館研究シリーズ』(ISSN:18804845), No. 38, 2005.11, p121-146.
- [2005/11/To] 當山仁健, 永田智和, 玉城史朗「利用者のプロフィールを考慮した連想検索 OPAC の構築(検索)」、『情報処理学会研究報告・自然言語処理研究会報告』, 2005(117), 2005.11, p38-38.
- [2005/12/In] 稲濱みのる「新しい国際目録原則(CA1571)」、『カレントアウェアネス』, No. 286, 2005.12, p4-5.

#### 2006 年(平成 18 年)

- [2006/00/Ha] 長谷川豊祐「フォーカス・グループ・インタビューによる大学図書館業務電算化の構造解明」、『三田図書館・情報学会研究大会発表論文集』, Vol. 2006 年度, 2006, p17-20.

- [2006/00/Ha] 橋詰秋子「FRBR から見た JAPAN/MARC フォーマットの機能的構造」、『三田図書館・情報学会研究大会発表論文集』, Vol. 2006 年度, 2006, p53-56.
- [2006/00/Ki] 木下和彦「<海外レポート>北米図書館における図書館システム導入動向調査」、『Medianet』(慶応義塾大学メディアセンター本部), (通号 13), 2006, p52-55.
- [2006/00/Na] 中村亜日香「OPAC 改善の動き・続: OPAC 改善委員会」、『Medianet』(慶応義塾大学メディアセンター本部), (通号 13), 2006, p32-33.
- [2006/00/Ta] 高橋菜奈子「全国漢籍データベースと NACSIS-CAT データベース比較: 漢籍目録の書誌記述の標準化のために」、『漢籍』(漢籍研究会), No. 13, 2006, p57-73.
- [2006/00/To] 東京都立中央図書館資料管理課「“NACSIS-CAT 参加後の中国語、韓国・朝鮮語圖書の書誌所蔵データ入力と資料検索”(サービス)」、『都立図書館報』, (155), 2006, 25-26
- [2006/00/Wa] 渡邊智康「機械化による図書館の変化: 特にインターネットの出現」、『短期大学図書館研究』(私立短期大学図書館協議会), 26, 2006, p87-92.
- [2006/01/Ha] 長谷川豊祐『大学図書館業務電算化の評価: フォーカス・グループ・インタビューによる分析』慶應義塾大学大学院文学研究科 図書館・情報学専攻情報資源管理分野 平成 17 年度修士論文), 2006.01, 106p.
- [2006/01/Ha] 林賢紀, 宮坂和孝「RSS( RDF Site Summary) を活用した新たな図書館サービスの展開: OPAC2.0 へ向けて」、『情報管理』, 49(1), 2006.01, p11-23.
- [2006/02/Ya] 山田稔「ドイツ図書館も MARC21 へ」、『司書の目と耳』(愛知淑徳大学図書館), 2006.02.  
\* <[http://www2.aasa.ac.jp/org/lib/j/issues\\_i/metomimi/metomimi2006html#20060217](http://www2.aasa.ac.jp/org/lib/j/issues_i/metomimi/metomimi2006html#20060217)> [確認: 2009 年 2 月 22 日]
- [2006/03/Do] 呑海沙織「学術情報基盤の形成: CADLIS と NII (特集: 第 4 回国際図書館学セミナー研究発表等報告: 日中両国のライブラリアンシップの相互理解と発展のために)」、『現代の図書館』, 57(6), 2006.03, p380-382.
- [2006/03/It] 伊藤光郎「最近の海外 ILL 事情: 中央図書館レファレンス係の依頼の取り組みを中心に」、『図書之譜』(明治大学図書館), 通号 10, 2006.03, p142-158.
- [2006/03/Ko] 国公立大学図書館協力委員会シンポジウム企画運営委員会「国公立大学図書館協力委員会ニュース: 平成 17 年度シンポジウム「新たな相互協力をめざして: ILL サービスの課題と書誌ユーティリティ」報告」、『大学図書館研究』(ISSN: 03860507), No. 76, 2006.03, p97-109.
- [2006/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「Webcat Plus の紹介(特集: Webcat Plus)」、『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 17 号, 2006.03.31.
- [2006/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「平成 17 年度遡及入力事業追加採択について」、『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 17 号, 2006.03.31.
- [2006/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「自動登録システム実証実験プロジェクト平成 17 年度報告書について」、『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 17 号, 2006.03.31.
- [2006/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「平成 18 年度遡及入力事業について」、『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 17 号, 2006.03.31.
- [2006/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「図書館所蔵レコード 8,000 万件突破!」、『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 17 号, 2006.03.31.
- [2006/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「平成 17 年度総合目録データベース実務研修実施報告」、『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 17 号, 2006.03.31.
- [2006/03/Ko] 小西和信「電子ジャーナルとドキュメントデリバリー」、『平成 16 年度図書館講演会記録集』(聖心女子大学図書館), 2006.03, p17-26. \* ILL で雑誌購読を中止できるか
- [2006/03/Ma] 松下眞也「古典籍総合データベースの構築と展開」、『早稲田大学図書館紀要』, 53, 2006.03, p1-24.
- [2006/03/Na] 中林雅士「図書館システムの高可能性とシステム構築負荷分散とデータベースの多重化」,

- 『図書譜』(明治大学図書館), 通号 10, 2006.03, p183-200.
- [2006/03/Sa] 酒井由紀子, 園原麻里「ILL 統計データ分析からみた医学文献流通における私大医学図書館の役割」, 『医学図書館』, 53(3), 2006.03, p233-238.
- [2006/03/Wa] 渡邊隆弘「典拠コントロールの現在: FRAR と LCSH の動向」, 『情報の科学と技術』(社団法人情報科学技術協会 ISSN:09133801), Vol.56, No.3, 2006.03, p108-113.
- [2006/03/Yo] 米田菜穂, 武内八重子, 加藤晃一「ビッグ・ディール後の ILL: 千葉大学附属図書館亥鼻分館における調査」, 『大学図書館研究』(大学図書館研究編集委員会 ISSN:03860507), No.76, 2006.03, p74-81.
- [2006/04/Ha] 林賢紀, 宮坂和考「RSS (RDF Site Summary) を活用した図書館サービスの展開」, 『情報管理』, 49(1), 2006.04, p11-23.
- [2006/04/Ma] 松下茂「ドキュメントデリバリーサービスの現状: 主に Electronic Document Delivery Service について(特集: デジタル・ドキュメントの流通: ドキュメント・デリバリー・サービスとオンデマンド・パブリッシングの現在)」, 『大学の図書館』, 25(4) (通号 389), 2006.04, p46-48.
- [2006/05/Us] 上田洋, 村上晴美「蔵書検索のための Web 情報源を用いた件名の提案(情報検索・情報解析)」, 『情報処理学会研究報告・データベース・システム研究会報告』, 2006 (59), 2006.05, p17-24.
- [2006/06/Ha] 原田隆史「図書館とオープンソース・ソフトウェア(特集: Open)」, 『現代の図書館』, Vol.44, No.2(通号 178), 2006.06, p68-75.
- [2006/07/Hi] 平山亮「情報検索および図書館相互借借の標準規格(特集: 情報活動と標準規格)」, 『情報の科学と技術』, 56(7), 2006.07, p307-311.
- [2006/04/Ho] 星屋真「大阪大学生命科学分館の ILL 複写受付の現状: 国公私立大学図書館委員会主催平成 17 年度シンポジウム事例報告より」, 『大学の図書館』, 25(4) (通号 389), 2006.04, p50-52.
- [2006/07/Mu] 村上泰子, 北克一「オープンソースと図書館システム--導入への評価モデル(〔日本図書館研究会〕第 47 回研究大会グループ研究発表)」, 『図書館界』, Vol.58, No.2(通号 329), 2006.07, p124-134.
- [2006/08/Ho] 星和夫「新潟大学附属図書館所蔵古文書群の整理と活用(小特集: 図書館におけるアーカイブズ)」, 『大学図書館研究』(大学図書館研究編集委員会 ISSN:03860507), No.77, 2006.08, p21-27.
- [2006/08/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「タイ語等資料の取扱い及び解説, コーディングマニュアルの公開」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 18 号, 2006.08.10.
- [2006/08/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「展覧会カタログ資料の取扱い及び解説, コーディングマニュアルの公開」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 18 号, 2006.08.10.
- [2006/08/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「視聴覚資料の取扱いについて」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 18 号, 2006.08.10.
- [2006/08/Ku] 黒澤公人「図書全文検索と図書館システム (Infopro ならこれを読んでおこう)」, 『情報の科学と技術』, Vol.56, No.8, 2006.08, p374-375. \*馬場重徳著『Union index of books in the field of documentation』.
- [2006/08/Li] 李晨英, 謝琴芳, 喻爽爽「CALIS 日本語書誌作成と典拠コントロールの全面的実現: CALIS 共同目録のオンライン典拠コントロールシステムについて」, 『大学図書館研究』(大学図書館研究編集委員会 ISSN:03860507), No.77, 2006.08, p51-59.
- [2006/09/Ha] 原田隆史「<動向レビュー>オープンソースと統合図書館システム (CA1605)」, 『カレントアウェアネス』, 289, 2006.09, p15-18.
- [2006/09/Ik] 池田和弘, 衛藤俊介, 永井智子「利用者志向目録: その手法とアメリカに見る先駆的な取り組み」, 『私立大学図書館協会会報』, 通号 126, 2006.09, p133-142. \*FRBR に関する OCLC のプロジェクト.
- [2006/09/Mi] 三上彰, 川中はるか, 伊藤彩[ほか]「海外 ILL 事例報告を中心に: 第 13 期相互協力研究分科会活動報告」, 『私立大学図書館協会会報』, 通号 126, 2006.09, p138-142.

- [2006/09/Nu] 沼田晃佑[ほか]「和漢古書の刊行年推定とNII方式での書誌データ作成：アンケート集計結果を踏まえて」、『私立大学図書館協会会報』, 通号 126, 2006.09, p155-161.
- [2006/09/Oj] 尾城孝一「GeNii:NIIの学術コンテンツ・ポータルについて(電子情報サービスの現状;2)」, 『専門図書館』, No.219, 2006.09, p17-21. \*Webcat Plusにも言及
- [2006/10/Sh] 柴崎直也, 横山幸雄, 沢辺均「国立国会図書館・JAPAN/MARCの現場を歩く([インタビュー] 国会図書館は、どうやって本を集めMARCをつくっているのだろうか?[含マーク作成の現場、書誌部国内図書課探訪])」, 『ず・ぼん』, 12, 2006.10, p70-89.
- [2006/10/Su] 角谷佳未「文献複写ILLの最近の動向:[慶応義塾大学]湘南藤沢メディアセンターの場合」(特集:図書館ポータル), 『Medianet』(慶応義塾大学メディアセンター本部), (13), 2006.10, p42-43.
- [2006/10/Ta] 田邊実「次世代図書館サービスにおける認証システム(特集:図書館ポータル)」, 『Medianet』(慶応義塾大学メディアセンター本部), (13), 2006.10, p22-25.
- [2006/11/Ku] 黒澤公人「Web2.0が導く新たな地平:新しい図書館システムを求めて(<特集>図書館とWeb2.0)」, 『情報の科学と技術』, 56(11), 2006.11, p514-519.
- [2006/11/Ok] 岡本真「「Web2.0」時代に対応する学術情報発信へ:真のユーザー参加拡大のためのデータ開放の提案」, 『情報管理』, 49(11), 2006.11, p632-643.
- [2006/11/To] 萱山仁健(沖縄国際大学)「利用者のプロフィールを考慮した連想検索OPACの構築(<特集> 図書館とWeb2.0)」, 『情報の科学と技術』, 56(11), 2006.11, p520-525. \*沖縄国際大学図書館のOPAC
- [2006/12/Da] 「課題別分科会ILL:大学図書館問題研究会第37回全国大会記録2006年8月5日(土)~7日(月)」, 『大学の図書館』(大学図書館問題研究会), 25(12)(通号397), 2006.12, p214-216.
- [2006/12/It] 逸村裕「「学術情報基盤の今後の在り方について(報告)」の背景と展開(特集:2006・トピックスを追う)」, 『図書館雑誌』, 100(12), 2006.12, p811-813.
- [2006/12/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「「NACSIS-CATレコード調整方式検討ワーキング・グループ報告書」で提案された応急策の実施について」, 『NACSIS-CAT/ILLニュースレター』, 19号, 2006.12.12.
- [2006/12/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「ILLシステムの国立国会図書館依頼機能の運用中止」, 『NACSIS-CAT/ILLニュースレター』, 19号, 2006.12.12.
- [2006/12/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「KERISとのILLシステム間リンクの運用開始」, 『NACSIS-CAT/ILLニュースレター』, 19号, 2006.12.12.
- [2006/12/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「WebcatおよびWebcat Plusのサービスに関するアンケート集計結果」, 『NACSIS-CAT/ILLニュースレター』, 19号, 2006.12.12.
- [2006/12/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「平成18年度総合目録データベース実務研修実施報告」, 『NACSIS-CAT/ILLニュースレター』, 19号, 2006.12.12.
- [2006/12/Wa] 渡邊隆弘「研究図書館目録の危機と将来像:3機関の報告書から(CA1617)」, 『カレントアウェアネス』, 290, 2006.12, p14-16 <<http://www.dap.ndl.go.jp/ca/modules/ca/item.php?itemid=1053>>
- 2007年(平成19年)**
- [2007/00/Ha] 橋詰秋子「FRBRから見た日本のMARCの特徴」, 『三田図書館・情報学会研究大会発表論文集』, Vol.2007, 2007, p13-16.
- [2007/00/Ha] 橋詰秋子「FRBRから見た日本の図書館目録における著作の傾向:慶応義塾大学OPACを例として」, 『Library and Information Science』, no.58, 2007, p33-48.
- [2007/00/Ha] 林賢紀「<講演要旨>Web2.0時代の新たな図書館サービスの展開」, 『東海地区大学図書館協議会誌』, 52, 2007, p18-26.
- [2007/00/Ma] 前川由美子「書誌ユーティリティにおける総合目録の品質管理の実証的研究:総合目録データベースNACSIS-CATにおける書誌レコード調整の記録分析を通して」, 『Journal of Informatics:情報学』(大阪市立大学電子ジャーナル), Vol.4, No.1, 2007. \*<http://ojs.info.gsucc.osaka-cu.ac.jp/JI/viewissue.php?id=13> [2009/02/16確認]
- [2007/00/Ok] 岡本真「<講演要旨>Web2.0時代の図書館:大学図書館にとってのWeb2.0」, 『東海地区大学

図書館協議会誌』, 52, 2007, p3-8.

[2007/03/Ab] 阿部潤也「Google になる? Google にする?」, 『大学図書館研究』, No.79, 2007.03, p62-67.

\* Google を OPAC に利用する可能性について。

[2007/03/It] 逸村裕「わが国の大学図書館政策の歴史的回顧」, 『電子情報環境下における大学図書館機能の再検討 (REFORM): 科学研究費補助金研究成果報告書』, 研究代表者: 土屋俊 (千葉大学), 2007.3

[2007/03/Ko] 国立大学図書館協会学術情報委員会図書館システム検討ワーキンググループ 『今後の図書館システムの方向性について』, 国立大学図書館協会総会資料 No.54-3, 2007.03, 59p.

内容: 1章. 図書館システムの再構築 (北村明久, p6-9); 2章. 管理しない図書館システム: 管理志向からサービス提供志向へ (茂出木理子, p10-14); 3章. 図書館 CRM と図書館システム (岡部幸祐, p15-21); 4章. 利用者と図書館蔵書のマッチングを支援する図書館へ (高橋努, p22-25); 5章. Web2.0 と今後の図書館システムの展開 (村田輝・村上晋司, p26-32); 6章. 図書館システム・ベンダーからのコメント (p33-38); 7章. 大学図書館を支える全国的な図書館システムの今後 (相原雪乃, p38-41); 8章. 5年・10年後の大学図書館/システムを予測する (星野雅英, p42-45); 付録1. ワーキンググループ議事メモ (岡部幸祐, p46-58); 付録1. ワーキンググループ要項.

[2007/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「目録外注化のための仕様書モデル(案)の作成について」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 20号, 2007.03.31.

[2007/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「全国漢籍データベースとのリンク」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 20号, 2007.03.31.

[2007/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「SPCAT (Selected Package CAT) の新規提供終了について」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 20号, 2007.03.31.

[2007/03/Mu] 村上浩介「次世代の図書館サービス? : Library2.0 とは何か (CA1624)」, 『カレントアウェアネス』, 291, 2007.3, p5-7. <<http://www.dap.ndl.go.jp/ca/modules/ca/item.php?itemid=1062>>

[2007/03/Sa] 佐藤義則「近年の NACSIS-ILL における看護文献の需要と供給: ログ分析の結果から」, 『看護と情報: 看護図書館協議会誌』, 14, 2007.03, 65-72.

[2007/03/Sa] 佐藤義則「大学図書館を中心とする ILL と文献需要の動向」, 『電子情報環境下における大学図書館機能の再検討 (REFORM): 科学研究費補助金研究成果報告書』, 研究代表者: 土屋俊 (千葉大学), 2007.3

[2007/04/Ta] 高野明彦「検索から連想へ: 情報を発想力に変換する連想エンジン(特集: <検索>の未来)」, 『科学』, 岩波書店, 77(4) (通号 896), 2007.07, p356-361.

[2007/04/Tu] Tuchiya, Shun (土屋俊); Takeuchi, Hiroya (竹内比呂也); Sato, Yoshinori (佐藤義則); Itsumura, Hiroshi (逸村裕). ILL/DD in Japan across the turn of the century: Basic findings about NACSIS-ILL from 1994 to 2005. 「日本の図書館間相互貸借/ドキュメント・デリバリー: 1994年から世紀をまたいで 2005年までの NACSIS-ILL 基本調査結果」, "Progress in informatics", (4), 2007.04, p29-49. \* 英文

[2007/05/Ka] 春日井泉江「文献入手の可能性を広げよう: 病院図書館における相互貸借(はじめての図書館員へ)」, 『病院図書館』, Vol.26, No.4, 2007.05, p167-170.

[2007/05/Ne] 根本彰「デジタル情報空間における書誌コントロール論の位相(図書館情報学の研究動向と新たな流れ)」, 『情報の科学と技術』, 57(5), 2007.05, p220-225.

[2007/05/Ya] 山田稔「世界最大になるため, OCLC は知恵を集める」, 『司書の目と耳』(愛知淑徳大学図書館), 2005.05. \* <[http://www2.aasa.ac.jp/org/lib/j/issues\\_i/metomimi/metomimi2007html#20070502](http://www2.aasa.ac.jp/org/lib/j/issues_i/metomimi/metomimi2007html#20070502)> [確認: 2009年2月22日]

[2007/06/Ha] 原田隆史「図書館員自身の協同で作る図書館システム仕様: 日本発のオープンソース図書館システム作成を目指して (CA1629)」, 『カレントアウェアネス』, 292, 2007.06, p4-6.

[2007/06/Ki] 気谷陽子「『学術情報システム』の総体としての蔵書における未所蔵図書の発生」, 『日本図書館情報学会誌』, 53(2), 2007.6, p103-121. \* 要求タイトルと収集状況をロジスティック回帰分析。

- [2007/07/Ko] 国立情報学研究所学術コンテンツ課「RLG 参照ファイルのサービス終了について」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 21号, 2007.07.20.
- [2007/07/Ko] 国立情報学研究所学術コンテンツ課「平成 19 年度選及入力事業について」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 21号, 2007.07.20.
- [2007/07/Ko] 国立情報学研究所学術コンテンツ課「視聴覚資料の取扱い及び解説, コーディングマニュアルの公開」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 21号, 2007.07.20.
- [2007/07/Ko] 国立情報学研究所学術コンテンツ課「NII での目録品質管理(1)」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 21号, 2007.07.20.
- [2007/07/Na] 中島操「再考! アウトシング: 同志社大学の目録整理の事例を通して(特集: 図書館業務のアウトソーシング)」, 『情報の科学と技術』, 57(7), 2007.07, p341-346.
- [2007/08/Ta] 高橋菜奈子「NACSIS-CAT における韓国・朝鮮人著者名典拠の同定」, 『大学図書館研究』, No.80, 2007.08, p65-73.
- [2007/08/Ta] 高橋隆一郎「海外 ILL 入門: 東京学芸大学附属図書館での経験に基づいて」, 『大学図書館問題研究会誌』, 30, 2007.08, p1-13.
- [2007/08/Ta] 高辻功一, 大前富美「電子ジャーナル導入による NACSIS-ILL 経由の文献複写依頼件数の減少効果: 大阪府立大学における調査」, 『大学図書館研究』, No.80, 2007.08, p74-78.
- [2007/09/Ku] 倉橋英逸「米国議会図書館における書誌コントロールの環境変化と再構築の道程」, 『整理技術研究グループ 50 周年記念論文集/日本図書館研究会整理技術研究グループ編』, (発売: 日本図書館協会), 2007.09, p84-104.
- [2007/09/Ma] 前川由美子, 北克一「書誌ユーティリティにおける総合目録の品質管理の実証的研究: 総合目録データベース NACSIS-CAT における書誌レコード調整の記録分析を通して」, 『日本図書館情報学会誌』, 53(3), 2007.09, p188.
- [2007/09/No] 野末道子, 江良隆一, 坂本夏至「土木図書館目録書誌連想検索システム試行運用上に見る利用者検索行動分析」, 『土木学会年次学術講演会概要集 (CD-ROM)』, Vol.62nd.Disk2.
- [2007/09/Ok] 岡本真「試論・理想の OPAC を求めて: ユーザビリティの観点から(特集: 図書館のアクセシビリティ・ユーザビリティ)」, 『現代の図書館』, 45(3), 2007.09, p136-142.
- [2007/09/Ok] 岡本真「Web2.0 と図書館: Blog と RSS の活用を中心に(全国研究集会 第4分科会: 図書館と Web2.0)」, 『専門図書館』, 225, 2007.09, p64-70.
- [2007/09/Ta] 竹内比呂也「<特別講演>学術コミュニケーションの変容と図書館相互協力(日本病院ライブラリー協会 2007 年度第1回研修会)」, 『ほすびたるらいぶらりあん』, 114, 2007.09, p153-159.
- [2007/09/Ta] 種市淳子(名古屋柳城短期大学図書館), 逸村裕「短期大学図書館における目次を付与した OPAC の情報探索行動」, 『日本図書館情報学会誌』, Vol.53, No.3, 2007.09, p189.
- [2007/09/Ts] 筑木一郎「<研究文献レビュー>学術情報流通と大学図書館の学術情報サービス (CA1639)」, 『カレントアウェアネス』, No.293, 2007.09, p21-30.
- [2007/09/Wa] 渡邊隆弘「LC「カルホーン報告書」をめぐる論争: 整理と考察」, 『整理技術研究グループ 50 周年記念論文集/日本図書館研究会整理技術研究グループ編』, (発売: 日本図書館協会), 2007.09.
- [2007/10/Ko] 小島浩之「図書館と OPAC (学術リソースレビュー: 学術サイト)」, 『漢字文献情報処理研究』(好文出版), No.8, 2007.10, p168-171.
- [2007/11/Ko] 国立情報学研究所学術コンテンツ課「図書所蔵レコード 9,000 万件突破!」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 22号, 2007.11.30.
- [2007/11/Ko] 国立情報学研究所学術コンテンツ課「NII での目録品質管理(2)」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 22号, 2007.11.30.
- [2007/12/Da]「課題別分科会 ILL: 大学図書館問題研究会第 38 回全国大会記録」, 『大学の図書館』(大学図書館問題研究会), 26(12) (通号 409), 2007.12, p224-226.
- [2007/12/Da]「課題別分科会 図書館システム: 大学図書館問題研究会第 38 回全国大会記録」, 『大学の図



- 書館』(大学図書館問題研究会), 26(12) (通号 409), 2007.12, p232-234.
- [2007/12/Ka] 神山貴子 (京都桂病院図書室)「Kinki Webcat:目録サポートチームからの紹介」,『病院図書館』, Vol.27, No.2, 2007.12, p64-66.
- [2007/12/Ya] 山中秀夫「コレクションの構築と運営:和古書の組織化とイメージ・データの有効性」,『情報の科学と技術』, 57(12), 2007.12, p556-560.
- 2008年(平成20年)**
- [2008/00/Mi] 宮田洋輔「JAPAN/MARC レコードからの自動構築可能な著作識別子の提案」,『三田図書館・情報学会研究大会発表論文集』,(2008年度), 2008, p69-72. \* JAPAN/MARC の自動 FRBR 化の試行.
- [2008/00/Na] 中島正道, 佐藤獎平, 中島めぐみ「新渡戸稲造『武士道』の書誌事項をめぐる混乱について」,『三田図書館・情報学会研究大会発表論文集』,(2008年度), 2008, p73-76. \* 『武士道』英文初版の刊年 1899 年説と 1900 年説を現物, Webcat Plus, LC の Catalogue 等を照合し 1900 年と確定.
- [2008/01/Ku] 黒澤公人「現代の超巨大コンピュータ:世界中のデータを検索するコンピュータとは(シリーズ・図書館システム管理の現場から;4)」,『図書館雑誌』, 102(1) (通号 1010), 2008.01, p50-51.
- [2008/02/Ko] 国立情報学研究所学術コンテンツ課「NII での目録品質管理(3)」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 23号, 2008.02.29.
- [2008/02/Ko] 国立情報学研究所学術コンテンツ課「メタデータ・データベース共同構築事業の終了について」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 23号, 2008.02.29.
- [2008/02/Ko] 小山憲司「ILL 文献複写の需給状況の変化と学術情報の電子化(特集:大学図書館の現況)」,『図書館雑誌』, 102(2) (通号 1011), 2008.02, p97-99.
- [2008/02/Sa] 佐藤義則「NACSIS-CAT と大学図書館のコレクションの現況(特集:大学図書館の現況)」,『図書館雑誌』, 102(2) (通号 1011), 2008.02, p100-102. \* NACSIS-CAT データベースの分析
- [2008/03/Ka] 片山俊治「OCLC と地区サービス・プロバイダ(RSP)の連携から見えてくるもの」,『私立大学図書館協会会報』, No.129, 2008.03, p183-196. \* PALINET と Amigo Library Service
- [2008/03/Ko] 国立情報学研究所学術コンテンツ課「連携本部図書館連携作業部会(次世代目録ワーキンググループ)『次世代目録所在情報サービスの在り方について(中間報告)』,国立情報学研究所学術基盤推進部学術学術コンテンツ課, 2008.03, 25p.
- [2008/03/Ko] 小材健[ほか]「大学の図書館情報システムに対する要求工学的アプローチ」,『デジタル図書館』(ISSN13407287), No.34, 2008.03, p33-41.
- [2008/03/Ku] 久保山健「次世代 OPAC 導入事例リンク集」<[http://dsv.library.osaka-u.ac.jp/pitt\\_report/pitt200803ngc.html](http://dsv.library.osaka-u.ac.jp/pitt_report/pitt200803ngc.html)>
- [2008/03/Ku] 倉光典子「書誌コントロールの将来に向けた LC の取り組み(CA1650)」,『カレントアウェアネス』, No.295, 2008.03, p2-5.
- [2008/03/Mi] 宮澤彰「UCS と Unicode:文字と文字コード管理(特集:書誌調整)」,『国立国会図書館月報』, no.564, 2008.03, p18-19.
- [2008/03/Na] 中林雅士(明治大学図書館)「大学間の図書館システムの統合:システムモデルと実装」,『私立大学図書館協会会報』, 通号 129, 2008.03, p156-174. \* 図書館システムの ASP 化など.
- [2008/03/Su] 鈴木宏子, 鶴岡真知子「ILL サービスにおける機関リポジトリとオープンアクセスのインパクト:千葉大学の経験から(動き始めた機関リポジトリ)」,『専門図書館』, 228, 2008.03, p1-6.
- [2008/03/Ta] 種市淳子(名古屋柳城短期大学図書館), 逸村裕「短期大学図書館における情報探索行動:目次を付与した OPAC のログ分析と検索実験をもとにして」,『名古屋大学附属図書館研究年報』, No.5, 2008.03, p57-68.
- [2008/03/Ue] 上田洋, 辰巳昭治, 金田千寿, 村上晴美, 平方善雄「大阪市立大学携帯 OPAC の独自開発とその評価」,『大学図書館研究』, No.82, 2008.03, p40-50.
- [2008/04/Jo] ジェイ・ジョーダン(Jordan, Jay)「2008 年 OCLC の戦略,新サービス概観」,『薬学図書館』, 53(2), 2008.04, p122-129.

- [2008/04/Ka] 「NACSIS-CAT/ILL の「現状における問題点」とは？」、『カレントアウェアネス-E』, No. 126, 2008.04, E772.
- [2008/04/To] 図書館退屈男「『猫の司書さん』に見るシステム開発の基本：大学図書館問題研究会関西4支部新春合同例会「『猫の司書さん』を創った！～高校生が語る図書館システム～」を聴講して」、『大学の図書館』, 413, 2008.04, p64-67.
- [2008/04/Ya] 矢ヶ部光「Project Shizuku: 大学生による図書館情報システムへの挑戦(図書館の若き力)」、『大学の図書館』, 413, 2008.04, p59-61.
- [2008/05/Ha] 原田隆史「図書館システムについて一緒に考えてみませんか：Project NEXT-L への誘い(シリーズ・図書館システム管理の現場から；7)」、『図書館雑誌』, 102(5), 2008.05, p308-309.
- [2008/05/Ha] 林賢紀「Firefox 検索バー用の OPAC 検索プラグインを自作する(特集：ソフトウェア活用のススメ)」、『情報の科学と技術』, 58(5), 2008.05, p242-247.
- [2008/05/Ya] 山田稔「次の国際目録原則(International Cataloging Principles)の最終的な草案が公開された」、『司書の目と耳』(愛知淑徳大学図書館), 2008.05.  
\* <[http://www2.aasa.ac.jp/org/lib/j/issues\\_i/metomimi/metomimi2008html#20080502](http://www2.aasa.ac.jp/org/lib/j/issues_i/metomimi/metomimi2008html#20080502)> [確認：2009年2月22日]
- [2008/06/Ha] 林賢紀「次世代の図書館システムと OPAC」、『医学図書館』, 55(2), 2008.06, p121-126.
- [2008/06/Hi] 日高友江「情報の保存と資料の修復：山口大学所蔵戦前期東アジア関係資料の可能性：ILLでの利用と保存の問題を端緒として」、『現代の図書館』, Vol.46, No.2, 2008.06, p97-101. \* 内容：1)NACSIS-CAT への登録, 2)反響と ILL への影響, 3)資料の保存のために, 4)今後の展望と資料の可能性。
- [2008/06/Ko] 国立情報学研究所学術コンテンツ課「『次世代目録所在情報サービスの在り方について(中間報告)』の公開」、『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 24号, 2008.06.30.
- [2008/06/Ko] 国立情報学研究所学術コンテンツ課「平成20年度次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業総合目録データベース遷及入力事業の実施について」、『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 24号, 2008.06.30.
- [2008/06/Ko] 小西和信「<動向レビュー>日本の学術情報流通政策を考えるために(CA1667)」、『カレントアウェアネス』, No.296, 2008.06, p17-22.
- [2008/06/Ta] 田辺浩介「海外で開発される図書館向けオープンソース・ソフトウェア：総合型図書館管理システム・OPAC 編(シリーズ・図書館システム管理の現場から；8)」、『図書館雑誌』, 102(6), 2008.06, p398-399.
- [2008/07/Ko] 小池勇治, 西岡真吾, 森本武資, 丸山雄三, 高野明彦「分散連想計算サーバー群を統合する連想検索システム「想・IMAGINE」(アーキテクチャ)」、『電子情報通信学会技術研究報告・NLC, 言語理解とコミュニケーション』(ISSN09135685), 108(141), 2008.07, p31-36.
- [2008/07/Ma] 松井純子, 河手太士「図書館目録の将来設計：主題検索機能の提供を中心に」、『図書館界』, 60(2), 2008.07, p102-113.
- [2008/07/Su] 寸田五郎「宮崎大学附属図書館における OPAC と Junii+ のマッシュアップ(図書館システムと他システムとの連携)」、『大学の図書館』, 416, 2008.07, p145-146.
- [2008/07/Ta] 高木貞治「熊本大学附属図書館における他システムとの連携事例：図書館システムと大学ポータル統合認証を中心に(図書館システムと他システムとの連携)」、『大学の図書館』, 416, 2008.07, p142-145.
- [2008/07/Ta] 田辺浩介「日本で開発される図書館向けオープンソース・ソフトウェア：Project NEXT-L 編(シリーズ・図書館システム管理の現場から；9)」、『図書館雑誌』, 102(5), 2008.07, p468-469.
- [2008/07/Wa] 渡邊隆弘「新しい目録規則に向けて<座標>」、『図書館界』, 341, 2008.07, p53.
- [2008/08/Ha] 林賢紀「変貌する OPAC：「目録検索サービス」を超えて(シリーズ・図書館システム管理の現場から；10)」、『図書館雑誌』, 102(8), 2008.08, p546-547.
- [2008/08/Ue] 上田志保「NDLの書誌作成：和図書(クローズアップNDL；第3回)」、『図書館雑誌』, 102(8),

2008.08, p532.

- [2008/09/Ha] 橋武志「VBA プログラムと節約のすすめ：図書館システムのデータ処理について」、『中部図書館学会誌』, 49, 2008.09, p179-183.
- [2008/09/Ha] 橋詰秋子「書誌レコードの基本要件 (FRBR) と新しい国際目録原則覚書：目録の今後の方向性 (特集：これからの図書館目録に向けて)」、『現代の図書館』, 46(3) (通号 187), 2008.09, p159-165.
- [2008/09/Ho] 細川聖二, 平田義郎, 齊藤泰雄, 内藤裕美子「国立情報学研究所 次世代目録所在情報サービスの検討状況 (特集：目録の現状と未来)」、『情報の科学と技術』, 58(9), 2008.09, p442-447.
- [2008/09/Ho] 細川聖二, 平田義郎, 齊藤泰雄「NII アクションプランの成果と NACSIS-CAT/ILL の今後 (特集：これからの図書館目録に向けて)」、『現代の図書館』, 46(3) (通号 187), 2008.09, p172-178.
- [2008/09/Iz] 泉浩三ほか「西洋古版本の構造とその書誌作成 (2007 年度東海地区研究部会研究会分科会報告大会)」、『私立大学図書館協会会報』, 通号 130, 2008.09, p98-103.
- [2008/09/Na] 永田治樹「図書館の資源記述 (目録) の今後 (特集：目録の現状と未来)」、『情報の科学と技術』, 58(9), 2008.09, p424-429. \* LC の『書誌コントロールの将来に関するワーキング・グループ報告書』を踏まえた資源記述 (目録) のあり方を検討。
- [2008/09/Na] 中井万知子「国立国会図書館の書誌データ作成・提供のこれから：2008 年からの新しい方針 (特集：これからの図書館目録に向けて)」、『現代の図書館』, 46(3) (通号 187), 2008.09, p179-183.
- [2008/09/Nu] 沼田晃佑ほか「和漢古書の情報を読む：複雑さと個性の世界 (2007 年度東海地区研究部会研究会分科会報告大会)」、『私立大学図書館協会会報』, 通号 130, 2008.09, p104-109.
- [2008/09/Ok] 岡篤偉久子「総合目録における和漢古書書誌記述の考察：主として注記記述のあり方について (2007 年度西地区部会研究会)」、『私立大学図書館協会会報』, 通号 130, 2008.09, p213-222. \* 現物情報の「転記」を提案。
- [2008/09/Ok] 奥山智靖「愛三岐に図書館あり；愛知編：1994-2000 年目録の記憶を辿る」、『中部図書館学会誌』, 49, 2008.09, p41-48.
- [2008/09/Oo] 大串純子, 高井君枝「東京都立図書館の整理業務について：日本語資料の場合 (特集：目録の現状と未来)」、『情報の科学と技術』, 58(9), 2008.09, p448-453.
- [2008/09/Oo] 大塩裕子「創価大学図書館における OPAC 高度化の取組み (特集：これからの図書館目録に向けて)」、『現代の図書館』, 46(3) (通号 187), 2008.09, p184-195.
- [2008/09/Sa] 酒見佳世「目録業務の進むべき方向とは？：トロント大学図書館研修報告 (特集：目録の現状と未来)」、『情報の科学と技術』, 58(9), 2008.09, p.
- [2008/09/Sa] 佐藤義則「デジタル環境下の書誌コントロール：これからの図書館目録に向けた動き (特集：これからの図書館目録に向けて)」、『現代の図書館』, 46(3) (通号 187), 2008.09, p151-158.
- [2008/09/Sa] 佐藤義則「NACSIS-CAT の過去・現在・将来 (講演)」, 2008.09, 63 コマ. \* 「日本図書館研究会情報組織化研究グループ」(大阪市立浪速人権文化センター, 2008 年 9 月 20 日) における講演のプレゼン資料。
- [2008/09/Sh] 清水ゆかり「相互貸借, 特に利用者からのオンライン申込に関するアンケート」集計報告 (2007 年度東海地区研究部会研究会分科会報告大会)、『私立大学図書館協会会報』, 通号 130, 2008.09, p175-184.
- [2008/09/Su] 鈴木啓子「世界に向けての新しい目録規則 RDA 策定の動向：ある米国目録司書からの報告 (特集：これからの図書館目録に向けて)」、『現代の図書館』, 46(3) (通号 187), 2008.09, p166-171.
- [2008/09/Ta] 田辺浩介「Project NEXT-L プロトタイプで実現する「新しい目録」ERBR と「Web2.0」の実装 (特集：これからの図書館目録に向けて)」、『現代の図書館』, 46(3) (通号 187), 2008.09, p196-213.
- [2008/09/Wa] 渡邊隆弘「書誌コントロールの将来をめぐる論点：LC の WG 報告書とわが国の検討状況から (特集：目録の現状と未来)」、『情報の科学と技術』, 58(9), 2008.09, p.
- [2008/10/Ha] 原田隆史 (慶応大学文学部)「第 1 章米国の図書館の概況, 4. 全国規模の協会・組織の概況, 4.3. OCLC の動向」、『図書館研究シリーズ』(国立国会図書館 ISSN: 18804845), No. 40, 2008.10, p225-227.

\* OCLC の「サーピス、データベースなどの統合」と「オープン化」への対応など最近の動向を紹介。

[2008/10/Ko] 小島浩之「図書館と OPAC (学術リソースレビュー: 学術サイト)」, 『漢字文献情報処理研究』(好文出版), No.9, 2008.10, p162-165.

[2008/10/Ko] 国立情報学研究所学術コンテンツ課「NACSIS-CAT 所蔵レコード一億件突破」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 25号, 2008.10.31.

[2008/10/Ko] 国立情報学研究所学術コンテンツ課「NII での目録品質管理(4)」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 25号, 2008.10.31.

[2008/10/Ku] 黒沢俊典, 松田真美 (医学中央雑誌刊行会)「医中誌 Web から OPAC, リンクリゾルバへのリンクの現況」, 『情報プロフェッショナルシンポジウム予稿集』, Vol.5th, 2008.10, p115-119.

[2008/10/Ku] 工藤絵理子, 片岡真「次世代 OPAC の可能性: その特徴と導入への課題」, 『情報管理』, 51(7), 2008.10, p480-498.

[2008/11/Ko] [国立国会図書館] 収書書誌部「[1998-2008]この10年のトピックスと今後: 開館60周年を記念して; 6」, 『国立国会図書館月報』, 572, 2008.11, p24-30.

[2008/11/Na] 中道真一, 田辺浩介, 原田隆史「FRBR と集合知を利用した図書館システム仕様の策定」, 『デジタル図書館』, No.35, 2008.11, p25-36.

[2008/12/Ku] 久保山健「次世代 OPAC を巡る動向: その機能と日本での展開 (特集: ファインダビリティ向上)」, 『情報の科学と技術』, 58(12), 2008.12, p602-609.

[2008/12/Ma] 前田朗「ローコストでできるファインダビリティ向上 (特集: ファインダビリティ向上)」, 『情報の科学と技術』, 58(12), 2008.12, p615-620.

[2008/12/Na] 中嶋晋平「図書館による API の公開: PORTA の事例から (CA1677)」, 『カレントアウェアネス』, No.298, 2008.12, p10-12.

#### **2009年(平成21年)**

[2009/01/Ta] 竹内比呂也「学術情報政策と大学図書館 (『図書館界』60巻記念企画: 構造的転換期にある図書館の法制度と政策; 第4回)」, 『図書館界』, 60(5) (通号344), 2009.01, p334-343.

以上